

● 8月1日(月) 晴 札幌岳(1293.8m)

○ 4:40 起床。周りにはなんと沢山の車が泊まっている。いつ来たのだろうか？ トラックもいるし、浜松、九州ナンバーの車もある。 空には少々雲があるが、青空一杯で上々の天気だ。今日は6年ぶりで札幌岳へ登る。前は6月末に登ってサイハイランやコケイランがいっぱいだったが今年は8月、さてどんな花が咲いているのか楽しみだ。

・朝食とトイレを済ませ、いざ出発。と云っても登山口はすぐそばだ。6時 40 分登山口着。入山者帳に記入したが私が一番乗り、まだ誰も入山していない。静かな林間の登山道、花を探しながらのんびりと歩いてゆく。

・もう花の時期は終わったので花は殆ど無いが、果実をつけている。



コバノイチヤクソウやイチヤクソウは果実をたわわに付けているし、



←ウバユリが若い果実をいっぱい付け

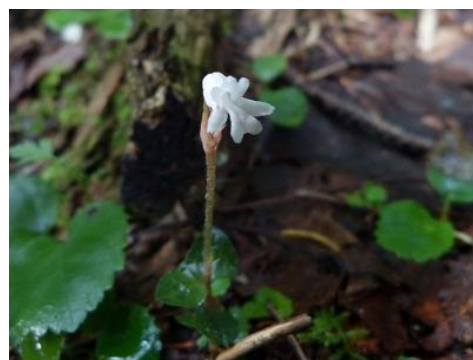


オオバタケシマランは真っ赤な実をいっぱいぶら下げている。



・花では エゾアジサイが満開で、なんと飾り花に鋸歯のあるナデシコ咲きの花をつけていた。

・また神奈川では絶滅危惧 I A 類のアリドオシランが可憐な花を咲かせていた。

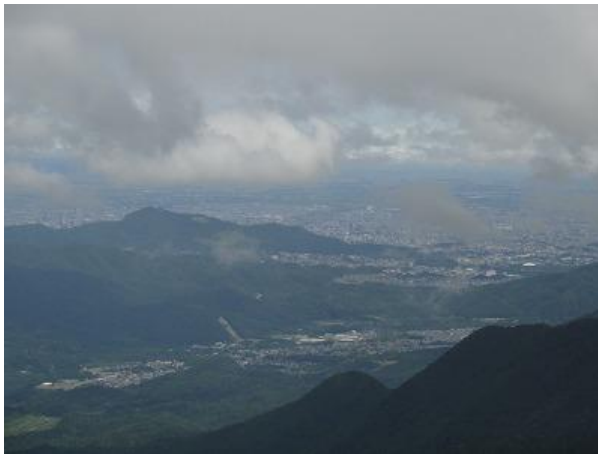




・花を見ながらのんびりと歩いたので冷水小屋まで2時間もかかった。前回来た時は6月で、蚊が群舞していて身体を動かしていないと蚊の大群に襲撃され閉口したが、今回は蚊がほとんどいないのでのんびりと休憩できた。ただ小屋に鍵がかかっていて中には入れなかった。  
ここから山頂まで約2時間の急坂が続く。



- ・ 登り始めてすぐアリドオシランが群生して咲いている。神奈川では考えられない。
- ・ 山頂近くになると急坂が終わり緩やかな尾根道の登りになるが、けっこう長くて嫌になる。



- ・ 11 時ごろ札幌岳の山頂 に到達した。山頂には誰もいない、私の独占だ。雲が垂れこめて眺望は無いが、遠方の下の方に札幌市街と思われる大きな市街地が望まれる。時々雲の切れ間から太陽が顔を出し、夏山の暑さを実感した。

- ・ おじさんが一人登ってきたので山頂をそのおじさんに譲り、11 時半に山を下った。下りは早い！途中冷水小屋前の水場で汗まみれのシャツを洗い、泥まみれの靴を洗い、身体を拭いてさっぱりして、14 時に登山口に着いた。今日の入山者は3人、車が3台止まっている。天気はすっかり良くなり真夏の太陽が暑い！



- ・昨日泊まった駐車場所はトイレと水があるのでそこでゆっくりしようと、下山してすぐに車を動かしたが、駐車場所に着いてみると駐車場所の白線を引く作業をしていて作業車がいっぱい、ゆっくりするところではない。日差しが暑くてじっとしてられない。やれやれどうしようか。思案の末このところ毎年寄っている道の駅「しんしのつ」へ行って泊まろうと決めた。良い風呂があるし レストランもありゆっくり休養できる。
- ・15時新篠津へ向けて出発。大都会札幌の街の渋滞を何とか潜り抜け、5時前にやっとのことで新篠津に着いたが、驚いたことにそこには満車状態の道の駅があった。えらい人気だな！  
やっとのことで駐車場所を見つけ、さて風呂と夕食だ、と思ったら、レストランが休止中だと！！  
楽しみにして来たのに。
- ・温泉にゆっくり入り、軽食に生ビール2ジョッキで夕食をすませ早々に寝た。
- ・道の駅「しんしのつ」は数年前にできた大きな駅で、ホテルのレストランでは「エゾシカのステーキ」など斬新なメニューがあり、風呂も大きく綺麗で開店した時から利用してきた。年々メニューが貧弱になり今年はどうとう休止だと。夜間トイレもホテルのトイレを使って来たが、今年の外に24時間トイレが出来ていて、洗面台2、トイレ2と小さい。夜間 ホテルは入口を閉め利用できなくなった。すっかり面白くない駅になったものだ。もう利用しないな。

● 8月2日（月） 快晴 移動：新篠津から東川へ

○5時起床。外は晴、今日も暑くなりそうだ。

明日は旭岳へ登る予定なので今日は登山口近くの東川まで移動する。

- ・周りを見ると昨夜あんなに泊まっていた車がだいぶ少なくなっている。皆さん行動が早いな！  
おにぎり味噌汁で簡単に朝食をすませ7時半に出発した。



・天気は上々、真夏の太陽の下東へ向けて快適に車を走らせた。まず道の駅「三笠」で一休み。ここは北海道で最初にできた道の駅で、道の駅番号1番。10年前に私がこの北海道山紀行を始めて最初に泊まったのもこの駅と云うことでなかなか思い出深い道の駅だ。

・同道110号(岩見沢三笠線)を更に西に進み桂沢湖に出た後から美唄富良野線を走って富良野へ出る。この美唄富良野線が富良野に出る直前に目の前に広がる富良野盆地とその後ろに聳える十勝連山の眺めはいつ見てもすばらしい。



- ・まず最初のお目当ては上富良野町の日の出公園に行き、コインランドリーで洗濯をし、ついでに布団の天日干しをすることだ。10時過ぎに日の出公園に到着。幸いにも夏の太陽がギンギンと照らしている。早速コインランドリーで洗濯を始め、寝具を車の屋根に広げて天日干し。

洗濯 30 分、乾燥 30 分、その間木陰で一休み。ひなたは焼けるように暑いが木陰は風が涼しく快適。これをリゾートと云うのだろうな。半乾きの洗濯物をハンガーに吊るして天日干し。

風に吹かれてどんどん乾く。木陰で丼べえの天ぷらそばとキュウリをかじって昼食。コーヒーを飲みながらのんびりと休息した。



- ・13:30 洗濯物を取り込み布団を車に収容して炎天下の移動を開始、昨年見つけて花がきれいだった記憶のある北美瑛の「ぜるぶの丘」へ向け国道 237 号線を北上した。皆さんしっかり制限速度を守ってゆっくり走っている。たまに我慢できず抜いてゆく車もあるが・・・。

・「ぜるぶの丘」は昨年の記憶とおりに花がきれいだったが人もかなり多く混雑。ミックスソフトアイス (300 円) が美味そうだったので食べたが、暑さのためどんどん融けて垂れて、あまり旨くなかった。



- ・美しいお花畑を一望し、展望台から目の前に「ケンとメリーの木」を眺めた。
- ・東側に見える十勝連山は昼ごろから発生する山特有の夏雲の中に隠れていて良く見えなかった。



・明日は旭岳へ登るので今日の宿泊予定地は東川の「大雪遊水公園」と決め、東川町へ向けて車を走らせた。東川町で食料調達と給油をすませ少し先にある「大雪遊水公園」に4時過ぎに着いた。何回か来ているが、広い駐車場にトイレが完備し、周りに遊水公園が広がる立派な公園だ。車はほとんどいない。



・日差しが暑いので木陰に車を止めて日暮れを待つことにした。5時過ぎ、真上には青空が広がっているのに周囲には積乱雲が立ちあがり稲光も見える。このところ北海道の気象状況は不安定で大雨警報が出ている地方もある。



・涼しくなってきたので夕食を始める。やはりビールが旨い。7時過半をすぎてあたりが少し暗くなってきたので寝ることになった。

・周りにいた車は皆いなくなり、広い駐車場に私の車1台ポツンと止まっている。外灯の下に車を止めたので少しは安全かな。

明日は旭岳だ。天気の良い事を祈りながら寝についた。

